

驚異の再生医療

当院の活動報告

第一部

【講師】

青山レナセルクリニックグループ代表

野田由紀子



一般社団法人輝実会

青山レナセルクリニック

Aoyama Renacell Clinic

Date : 2023 / 1 / 24

【講師紹介】



青山レナセルクリニックグループ代表 野田由紀子

- ・早稲田大学政治経済学部卒。
- ・三井信託銀行に入行、法人向融資やM&A業務に従事。
ニューヨーク研修を経て、チェースマンハッタン銀行東京支店部長代理に就任、
クロスボーダーM&A案件を担当する。
- ・28才で独立し、国内上場企業数十社に対するコンサルティング業務の傍ら、
欧米のベンチャー事業や特許技術導入を中心とする技術商社を経営する。
- ・2018年、最愛の父親の死去を契機に再生医療分野に進出。
2019年6月、医科歯科併設の赤坂レナセルクリニックを開設し、幹細胞治療を開始する。
- ・2020年6月、青山レナセルクリニックを開設し、本格的に幹細胞治療及び培養上清治療に注力。
独自のプロトコルに基づく乳歯歯髄由来幹細胞培養上清の作製及び低価格での提供を通じ、
わずか数か月間で、国内首位の培養上清取扱高を実現、再生医療総合クリニックに育て上げる。
- ・自身も自己免疫疾患に起因する難病「閉塞性網膜血管炎」と闘病中。

最近の青山レナセルクリニックの活動

2022年度の主な実績

- 1 国内ダントツ首位の培養上清取扱高（平均2,000ml／月間）を維持
- 2 幹細胞治療実績の急増
2022年度：45症例147件
- 3 新規に2件の第二種再生医療計画番号（共に局所投与）を取得
⇒ 同一料金にて、点滴治療を併用可能な「Value Plan」の開始
- 4 新たな培養施設（CPC）との契約締結

2023年度の目標

- 1 糖尿病再生治療の臨床実績の蓄積
- 2 更なる培養上清の品質向上（有効なエクソソームの選別・抽出技術の確立等）
- 3 幹細胞培養技術及び細胞の「質」に関する検証継続
- 4 クリニックの拡張（移転）又は分院開設
- 5 院内CPC開設

幹細胞再生治療

「第二種再生医療等提供計画」取得

点滴

2 型糖尿病

慢性疼痛

アトピー性皮膚炎

+

動脈硬化

(2023年2月取得予定)

培養上清治療

日本人の乳歯歯髄のみを厳選
高品質な幹細胞培養上清液を独自作製

国内随一の培養上清取扱高

再生医療総合クリニック

一般社団法人輝実会

青山レナセルクリニック

Aoyama Renacell Clinic

幹細胞再生治療

「第二種再生医療等提供計画」取得

局所
投与

変形性関節症

しわ・たるみなど
皮膚の加齢性変化

肌の再生治療

真皮線維芽細胞再生治療

当院オリジナル「Value Plan」

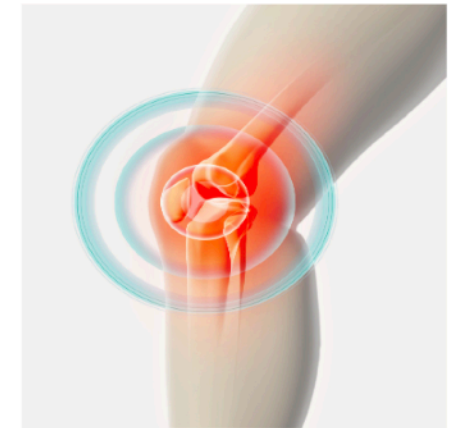
Plan 1

全身の疾患抑制と同時に
痛い膝関節や股関節に直接アプローチ！

静脈注射(点滴) × 関節症部位への局所投与

<例>

静脈注射 (点滴) 1億5000万セル × 右膝の局所投与5000万セル



Plan 2

究極のアンチエイジング再生美容治療！

静脈注射(点滴) × 顔の局所投与

<例>

静脈注射 (点滴) 1億5000万セル × 顔の局所投与5000万セル



患者様の治療例 1

青山レナセルクリニック問診票

2022 年 11 月 2 日記入

フリガナ [REDACTED] 男・女 [REDACTED]

氏名 [REDACTED]

生年月日 [REDACTED] 年齢 92 オ 78 A

住所 201 年 11 月 [REDACTED]

電話番号(日中連絡のつく連絡先) [REDACTED]

ご職業 ([REDACTED]) ☐ 未婚 ☒ 既婚

身長 150 cm 体重 50 kg

最近 6 ヶ月の間で、体重が () kg 増えた・減った・変わらない

1. 本日受診された主な症状はなんですか
慢性心臓病、糖尿病、腎臓病

2. その症状はいつ頃から続いていますか

3. 本日、ご希望の治療を教えてください (該当するものに、チェックをしてください)
☐ 皮膚科 ☐ 形成外科 ☐ 内科 ☐ ペイン科

4. 現在治療中または過去にかかった病気はありますか?
☐ 胃潰瘍 ☒ 糖尿病 ☐ 肝臓病 ☒ 腎臓病 ☐ 心臓病 ☐ 喘息
☐ 結核 ☐ 血液疾患 ☐ 網膜症 ☐ 神経症 ☐ リウマチ ☐ 甲状腺
☐ 膠原病 ☐ 老人性痴呆 ☐ 脳卒中 ☐ その他 ()

▲ いつ、その病気がわかりましたか? (年頃、 年前頃)
 (病院・医院で)

▲ 現在、病院で内服薬や注射・点滴などの治療を定期的に受けていますか?
☐ いいえ ☐ はい ⇒ (お薬の名前)

▲ 状態は ☐ 安定している ☐ 不安定である

青山レナセルクリニック

Y.M様（男性 / 現在92才）

神奈川県在住 病院経営

【疾患】

慢性腎臟病（糖尿病性腎症）

慢性上咽頭炎

※以前、心不全の発作あり

【治療内容】

幹細胞培養上清治療

- ・点鼻：毎日1ml
- ・点滴：合計2回

患者様の治療例 1 - 2

治療経過

2022年8月より当院の培養上清の在宅点鼻治療開始（月間30本ペースで継続中）

2022年9月 腎臓の炎症指標である「アルブミン／クレアチニン比率」が劇的に下落
337.5mg（分類「A3」）⇒16.3mg（分類「A1」）

慢性上咽頭炎が完治

2022年11月～2023年1月 良好なアルブミン／Cr比率値を維持
心不全リスクの指標BNP値も低下

推定作用

培養上清の炎症抑制効果による腎臓の排泄機能の正常化
⇒腎症改善により心臓への負荷が軽減

2022.8.13 初診	2022.9.27 1回	
項目	測定値	基準値
尿アルブミン濃度 (mg/gCr)	337.5	
尿クレアチニン濃度 (mg/dL)	0.1	
尿アルブミン／クレアチニン比率 (mg/gCr)	337.5	
尿蛋白濃度 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	

慢性上咽頭炎
慢性腎臓病
A3

2022.8.13 初診	2022.9.27 1回	
項目	測定値	基準値
尿アルブミン濃度 (mg/gCr)	337.5	
尿クレアチニン濃度 (mg/dL)	0.1	
尿アルブミン／クレアチニン比率 (mg/gCr)	337.5	
尿蛋白濃度 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	

慢性上咽頭炎
慢性腎臓病
A3

2022.8.13 初診	2022.9.27 1回	
項目	測定値	基準値
尿アルブミン濃度 (mg/gCr)	337.5	
尿クレアチニン濃度 (mg/dL)	0.1	
尿アルブミン／クレアチニン比率 (mg/gCr)	337.5	
尿蛋白濃度 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	

慢性上咽頭炎
慢性腎臓病
A3

2022.8.13 初診	2022.9.27 1回	
項目	測定値	基準値
尿アルブミン濃度 (mg/gCr)	337.5	
尿クレアチニン濃度 (mg/dL)	0.1	
尿アルブミン／クレアチニン比率 (mg/gCr)	337.5	
尿蛋白濃度 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	

慢性上咽頭炎
慢性腎臓病
A3

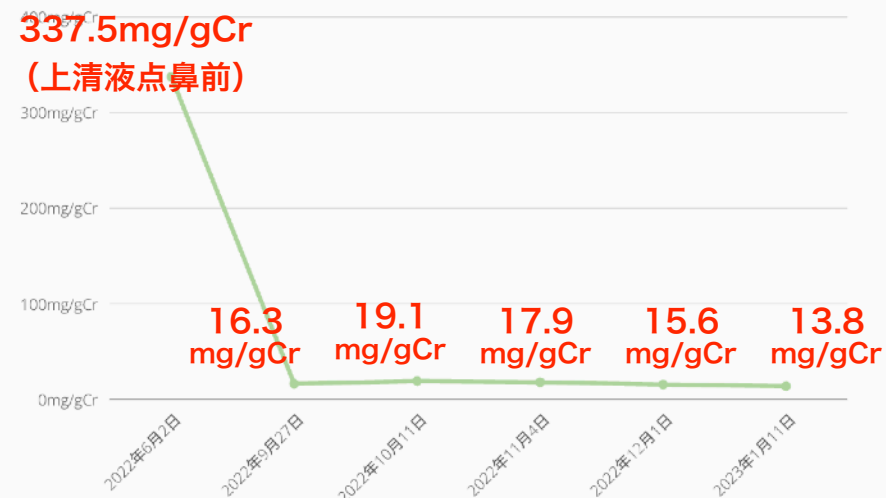
2022.8.13 初診	2022.9.27 1回	
項目	測定値	基準値
尿アルブミン濃度 (mg/gCr)	337.5	
尿クレアチニン濃度 (mg/dL)	0.1	
尿アルブミン／クレアチニン比率 (mg/gCr)	337.5	
尿蛋白濃度 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	

慢性上咽頭炎
慢性腎臓病
A3

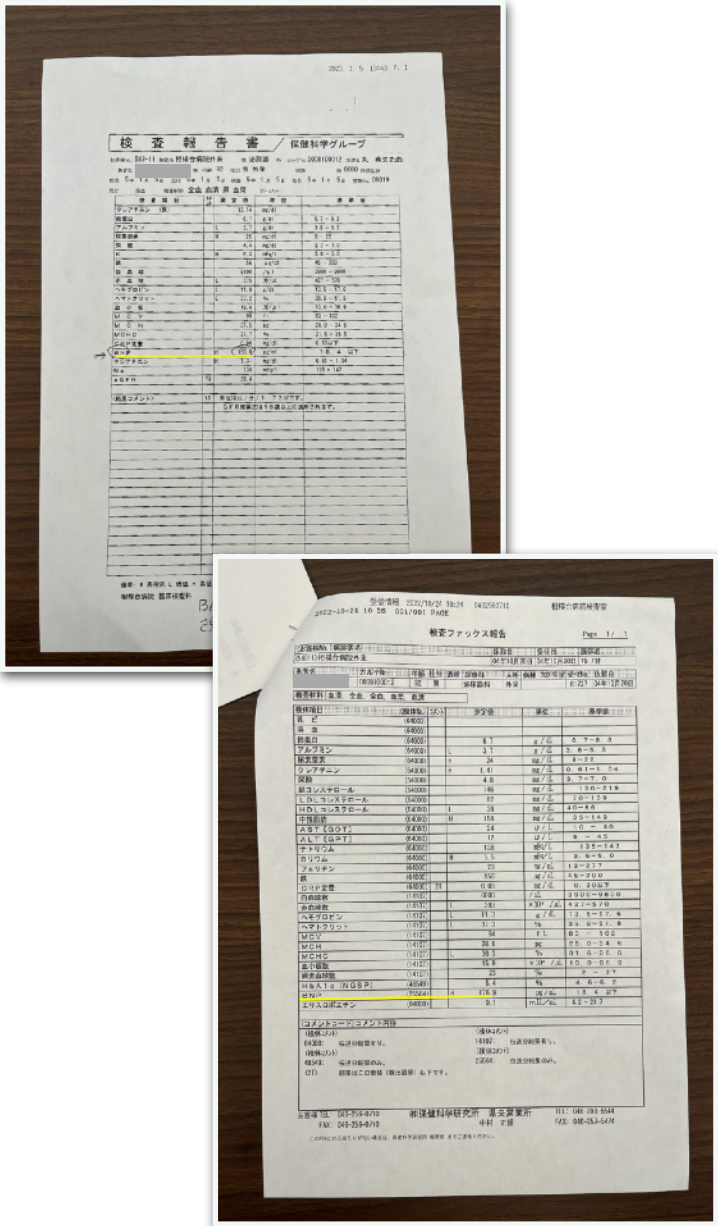
2022.8.13 初診	2022.9.27 1回	
項目	測定値	基準値
尿アルブミン濃度 (mg/gCr)	337.5	
尿クレアチニン濃度 (mg/dL)	0.1	
尿アルブミン／クレアチニン比率 (mg/gCr)	337.5	
尿蛋白濃度 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	
尿蛋白／クレアチニン比率 (g/gCr)	1.2	

慢性上咽頭炎
慢性腎臓病
A3

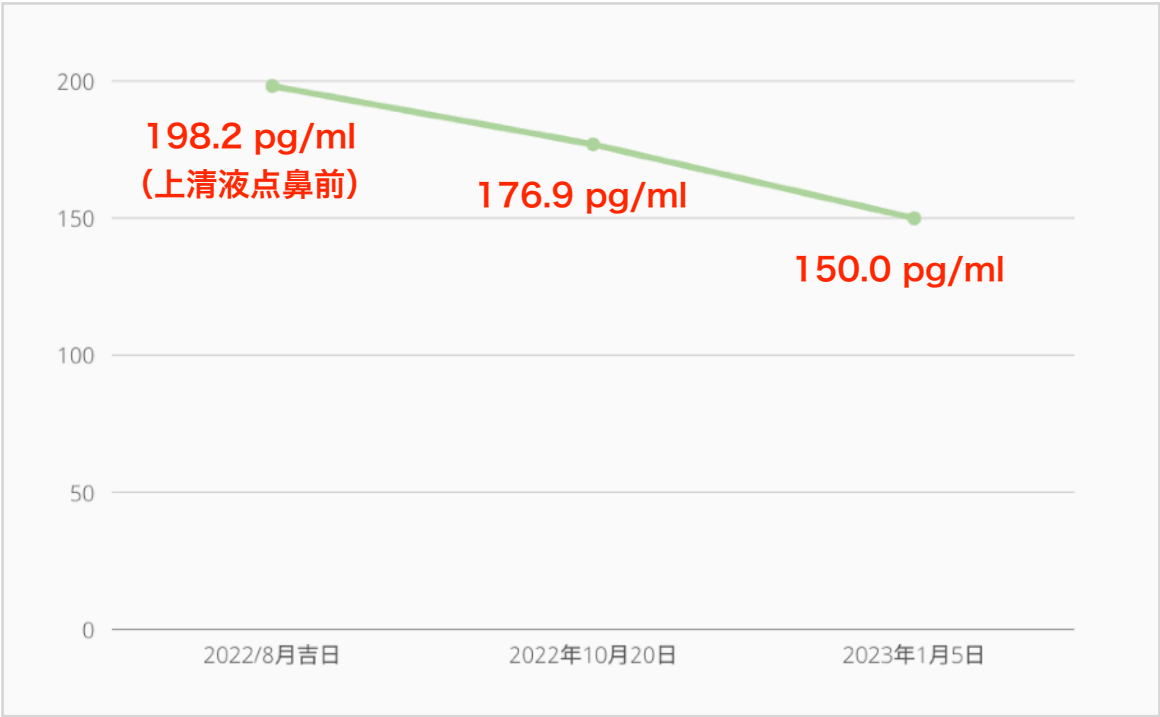
尿中アルブミン／クレアチニン比の改善データ



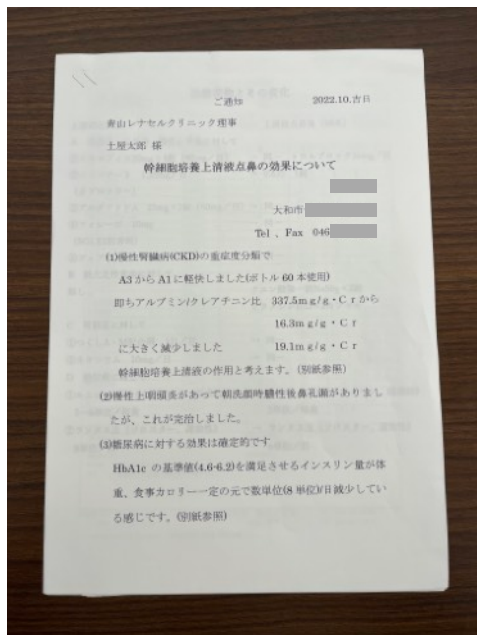
患者様の治療例 1 - 3



【BNP値の改善データ】



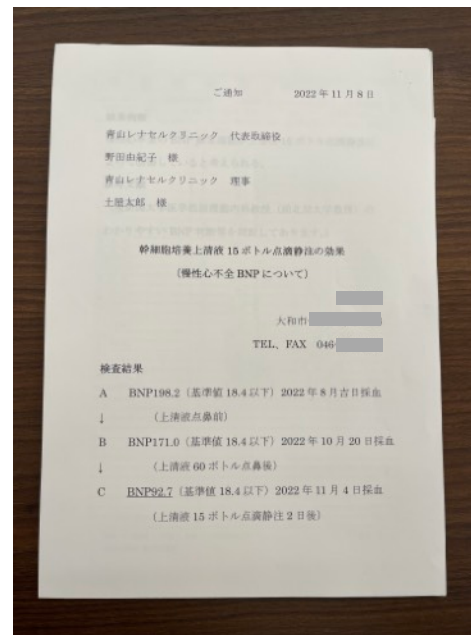
患者様の治療例 1 - 4



ご通知 (2022/10/24)

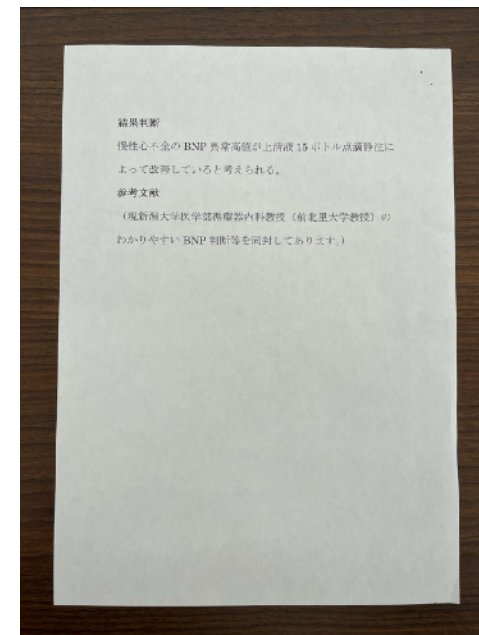
「慢性上咽頭炎があって朝洗顔時 膿性後鼻漏がありました、これが完治しました。」

「糖尿病に対する効果は確定的です。」



ご通知 (2022/11/8)

「慢性心不全のBNP異常高値が上清液15ボトル点滴静注によって改善していると考えられる。」



患者様の治療例 2

青山レナセルクリニック問診票

R 3 年 9 月 27 日記入

フリガナ _____
氏名 _____ (男) ・ 女
生年月日 8 27 年 2 月 17 日 年齢 69 才
住所 番地 _____
電話番号(日中連絡のつく連絡先) _____
ご職業 (会社役員) ☐ 未婚 ☒ 既婚
身長 169 cm 体重 66 kg
最近 6 ヶ月の間で、体重が (2)kg 増えた・減った・変わらない
1. 本日受診された主な症状はなんですか
パーキンソン
2. その症状はいつ頃から続いていますか
令和元年 6 月に診断されました
3. 本日、ご希望の治療を教えてください (該当するものに、チェックをしてください)
☐ 皮膚科 ☐ 形成外科 ☒ 内科 ☐ ペイン科
4. 現在治療中または過去にかかった病気はありますか?
☐ 胃潰瘍 ☐ 糖尿病 ☐ 肝臓病 ☐ 腎臓病 ☐ 心臓病 ☐ 喘息
☐ 結核 ☐ 血液疾患 ☐ 網膜症 ☐ 神経症 ☐ リウマチ ☐ 甲状腺
☐ 膠原病 ☐ 老人性痴呆 ☐ 脳卒中 ☐ その他 ()
▲ いつ、その病気がわかりましたか? (令和 2 年頃、 年前頃)
青山病院と中央病院で (病院・医院で)
▲ 現在、病院内服薬や注射・点滴などの治療を定期的に受けていますか?
☐ いいえ ☒ はい ⇒ (お薬の名前) メネジール、コクシット、バイアスピリン、
テロニサルタン、ゾルニエニン、
補血剤、
骨髄質、
鎮痛剤、
抗がん剤等、
状態は ☒ 安定している ☐ 不安定である
青山レナセルクリニック

T.T様（男性 / 現在70才）

香川県在住 事業家

【疾患】

4年前にパーキンソン病と診断され
2カ所の病院に通院するも徐々に悪化

<症状>

ふらつき・筋肉痛による歩行困難、
対話困難、表情の強張り等

【治療内容】

幹細胞治療：2億セル x 5回

幹細胞培養上清治療（点滴・点鼻）

患者様の治療例 2 - 2

治療経過

2021年9月より当院における治療開始

2022年3月 幹細胞投与 1回目（点滴／2億）

2022年5月 幹細胞投与 2回目（点滴／2億）

2022年7月 幹細胞投与 3回目（点滴／2億）

⇒この頃より、直進歩行や起床が楽になるなど症状改善

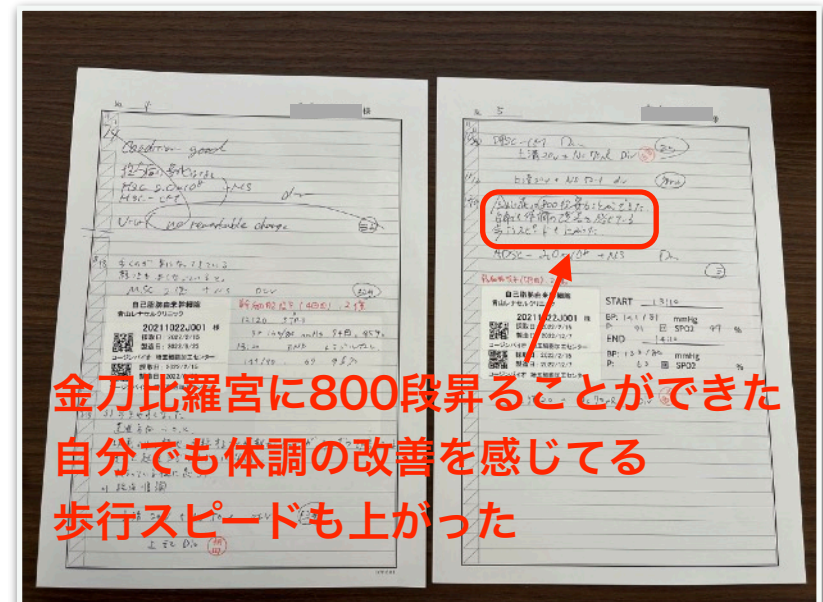
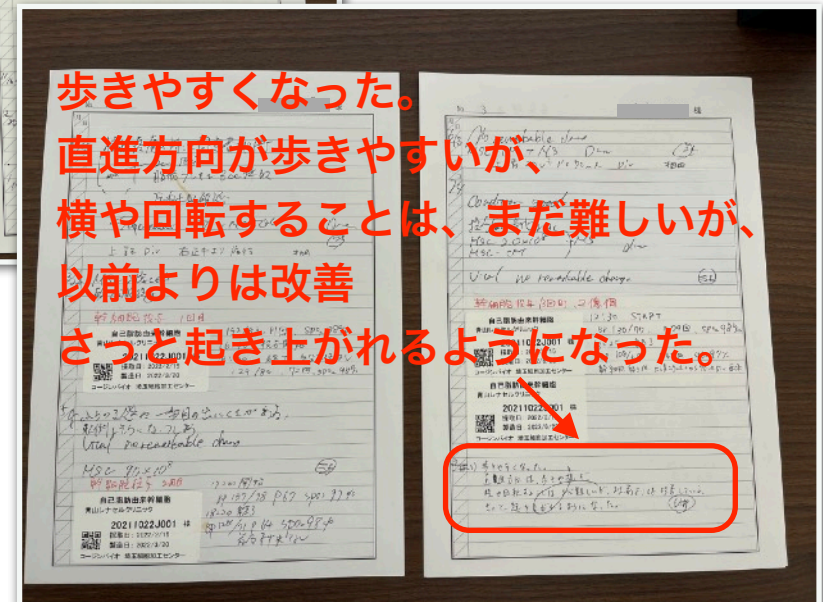
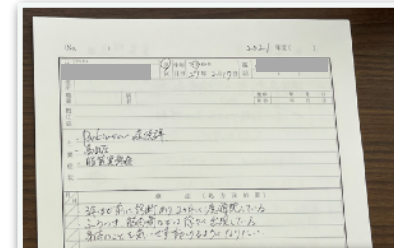
2022年8月 幹細胞投与 4回目（点滴／2億）

⇒歩行が顕著に改善し、スピードアップ。直進はほぼ完治
12月に金刀比羅宮800段の昇降を達成！

2022年12月 幹細胞投与 5回目（点滴／2億）

推定作用

幹細胞がドーパミン分泌機能を正常化



細胞の移送・保管方法（凍結 / 非凍結）



-196°C

液体窒素タンクで

凍結



-70°C以下

専用ボックスで

移送



-80°C

超低温冷蔵庫内で

保管



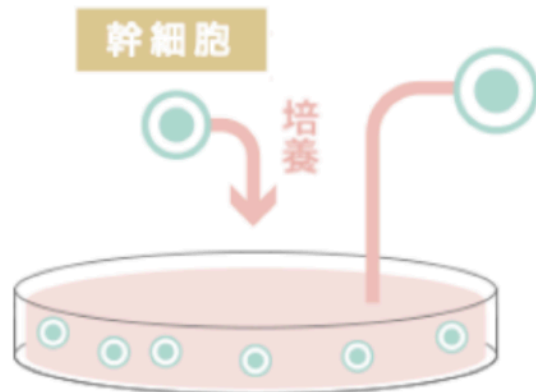
専用の器械で

急速解凍



投与

↑
凍結



→
非凍結



4~10°C

専用ボックスで

移送



投与

細胞生存率の実験（凍結 / 非凍結）

歯髄由来間葉系幹細胞の生存率確認試験

2022年10月18日
コージンバイオ株式会社

【概要】

一般社団法人輝実会 青山レナセルクリニック様の依頼に従い、歯髄由来間葉系幹細胞を用い特定細胞加工物と同程度の細胞濃度で凍結した細胞と非凍結の細胞について、細胞生存率を経時的に測定した。結果、非凍結群では6.5時間までは90%以上、凍結群では97.3%であった。本試験はn=1の試験であるため、結論付けるにはサンプル数を増やして試験されることを推奨いたします。

【内容】

実施場所：コージンバイオ株式会社 池袋クリニック培養センター

実施期間：2022年10月3日～12日

被験細胞：歯髄由来間葉系幹細胞(DP20220904J001)細胞数 5.3×10^7 個/1.7mL/凍結チューブ

細胞浮遊液：＜非凍結群＞生理食塩液

＜凍結群＞凍結保存液

保管温度：＜非凍結群＞4℃（薬用ショークース）

＜凍結群＞-196℃（液体窒素）、-80℃（超低温フリーザー）

評価項目：細胞生存率

評価方法：色素排除法（トリパンブルー染色）

【詳細】

10/3(月)11:00 ヒト歯髄由来間葉系幹細胞を培養容器より回収し細胞生存率を測定した後各条件下で細胞保管を開始

＜非凍結群＞

10/3(月)15:00 保管後4時間 細胞生存率測定

17:30 保管後6.5時間 細胞生存率測定

10/4(火)11:00 保管後24時間 細胞生存率測定

10/5(水)11:00 保管後48時間 細胞生存率測定

＜凍結群＞

10/3(月) 細胞回収後 -80℃で一晩保管

10/4(火) 保管細胞を-196℃環境下へ移動

10/10(月) 液体窒素環境下保管 Day6 -80℃環境下へ移動

10/12(水) -80℃環境下保管 Day2 37℃恒温水槽内に急速融解

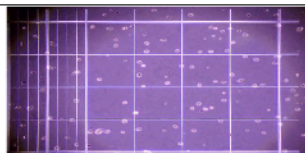
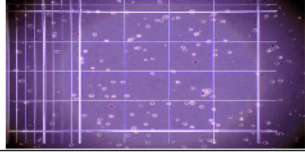
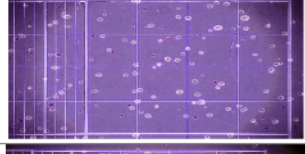
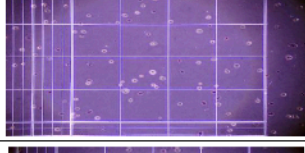
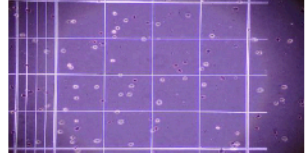
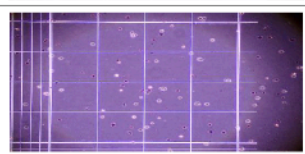
融解後細胞浮遊液を遠沈管に集め、4℃の生理食塩液20mlを加える。

この細胞浮遊液を330×g、6分間遠心後、沈査に生理食塩液10mlを加えて細胞を浮遊し細胞数および細胞生存率を測定

1/3

【結果】

＜非凍結群＞

製造後 保管時間	生細胞数 ($\times 10^7$ 個)	生存率 (%)	生存率計測時 細胞写真
0時間	5.3	96.9	
4時間	5.2	95.2	
6.5時間	4.9	91.3	
24時間	3.2	65.3	
30時間	2.3	48.5	
48時間	1.9	45.6	

細胞生存率の実験結果（凍結 / 非凍結）

凍結

投与時生存率 **97.3%**

歯髄由来間葉系幹細胞の生存率確認試験

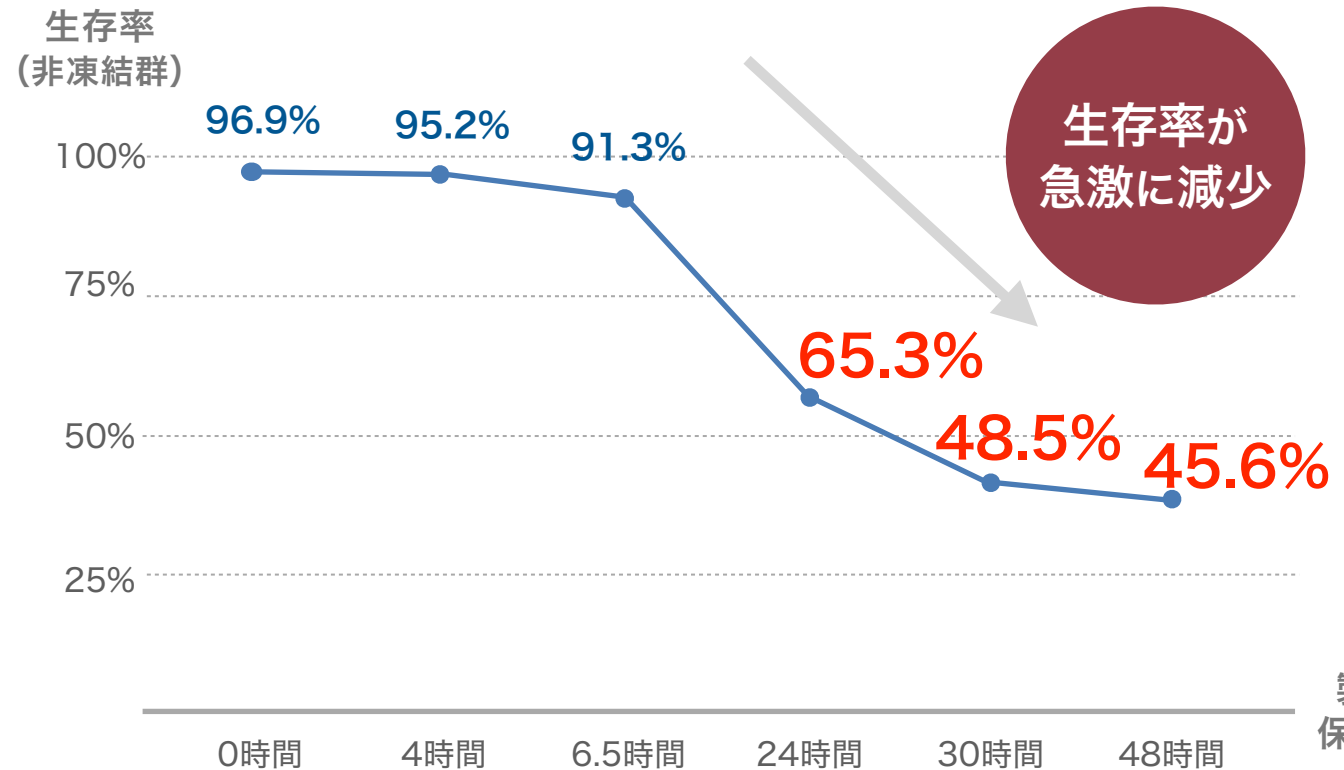
2022 年 10 月 18 日

【概要】

一般社団法人輝実会 青山レナセルクリニック様の依頼に従い、歯髄由来間葉系幹細胞を用い特定細胞加工物と同程度の細胞濃度で凍結した細胞と非凍結の細胞について、細胞生存率を経時的に測定した。結果、非凍結群では 6.5 時間までは 90% 以上、凍結群では **97.3%** であった。本試験は n=1 の試験であるため、結論付けるにはサンプル数を増やして試験されることを推奨いたします。

非凍結

**24 時間後以降、
生存率が急激に低下**



社会貢献活動



世界最大級のチャリティイベント

「Global Gift Gala in Tokyo 2022」に協賛。



「Global Gift Gala」は、SDGs 活動を含めた社会貢献活動を軸としたチャリティイベントで、名だたるハリウッドスターやセレブがアンバサダーを務め世界各地で開催されている。アジア初開催となった「Global Gift Gala in Tokyo 2022」は、インバウンド観光総合研究所による共催で開催され、観光庁、日本政府観光局も後援。イベントの収益は、社会的弱者の状況にある子どもや難病に苦しむ方々を支援する団体へ寄付された。

社会貢献活動



当院の再生医療及び経営理念についてスピーチ



当院の幹細胞再生治療をチャリティオークションに出品

